

整理番号 2025M-32

補助事業名 2025年度 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会 補助事業

補助事業者名 (一社) 日本ロボットシステムインテグレータ協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

- 全国の高校生を対象とし、モノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレータ（以下「ロボットSler」という。）の人材創出及び業界の認知度向上を目的として、ロボットシステムインテグレーションに関する競技会を開催。
- 参加校は、ロボットSler企業の伴走支援のもと、約8カ月間かけて、ロボットシステムインテグレーションの知識や技術を学び、競技課題に沿ったロボットシステムを構築。12月の競技会において、プレゼンテーションやデモンストレーションで各学校の成果を披露。
- また、ロボット関連企業や大学の見学会の実施、参加生徒同士の交流を通じて、高校生のキャリア教育の充実及びロボットSler業務への関心を醸成。

(2) 実施内容及び成果

<実施内容>

① 「第4回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会」の開催

(URL) <https://sileague.aichi.jp/index.html>

- 日時：2025年12月13日（土）及び14日（日）
- 場所：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）
- 参加校：20校
- 内容：競技会、ステージイベント、フロアイベント（ロボット体験・展示）
- 来場者：2日間で延べ17,605人（同時開催イベントの来場者を含む。）

ア 競技会

参加した高校は、競技部門・エキシビション部門に分かれて、構築したロボットのデモンストレーションやステージ上でのプレゼンテーションを行った。競技の様子はステージモニターを通じて中継され、会場は大いに盛り上がりを見せた。



イ ステージイベント

参加高校生及び地元アイドルによる競技会の紹介や、ロボットアームの製作体験などのステージイベントを実施し、来場者に対して競技会のPRを行った。



ウ フロアイベント（ロボット体験・展示）

本競技会のサポーター企業及び協賛企業によるロボットの操作体験や実演・展示等を実施し、来場者にロボットに触れる楽しさを体感いただいた。



エ アフターコミュニケーション

競技会終了後、会場内において交流会を開催し、参加生徒同士及びサポーター企業との交流・コミュニケーションを図った。



②ロボットSier企業見学会・大学見学会

ア ロボットSier企業見学会

(URL) https://sileague.aichi.jp/news_page.html#day0730no1

愛知県内のロボットSier企業を訪問し、様々なロボットの展示や、Sierとして実際に働く様子を見学した。過去に本競技会へ出場した社員から、当時の経験が現在の業務にどのように活かされているか話を伺った。

イ 大学見学会

(URL) https://sileague.aichi.jp/news_page.html#day0730no1

愛知県内の名城大学理工学部を訪問し、メカトロニクス工学科及び機械工学科等の研究室を見学した。各研究室においては、多種多様なロボットのデモ実験を実演いただき、最先端のロボット技術に触れる機会となった。

③広報活動

公式パンフレット、告知チラシ、公式Webページ、公式SNSのほか、ラジオやWebマガジンでの定期掲載、新聞社による参加校への取材記事掲載等を通じて、広く情報発信を行った。

<成果>

- ・約8カ月間にわたるSIer企業の伴走支援を伴うロボットシステムの構築や、企業・大学見学会等を通じて、参加高校生のロボットSIerの業務への関心及び知識の向上を図り、将来のロボットSIer人材の創出に繋げることができた。
- ・また、競技会や多彩な関連コンテンツについて幅広く情報発信を行った結果、17,000名を超える多くの来場者が会場を訪れた。来場者アンケートでは、本競技会を通じて約8割が「ロボットSIerに興味を持った」と回答しており、ロボットSIerへの関心喚起や業界の認知度向上にも寄与した。

2 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

(URL) <https://sileague.aichi.jp/index.html>



告知チラシ



公式パンフレット



会場リーフレット



公式 Web ページ



次回大会チラシ

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

3 予想される事業実施効果

- ・競技会を通じて、参加した高校生や来場した子どもたちがロボットSierの仕事や役割への理解と関心を深め、将来のキャリア選択肢の一つとして認識することで、進学・就職段階におけるロボットSier業界への志望者の増加が期待される。
- ・将来を見据えた人材の裾野拡大と人材確保が進むことで、製造業をはじめとする各産業分野でのロボット導入や自動化・省力化が一層促進される。こうした労働力不足への対応や生産性向上を通じて、日本の産業競争力の強化や持続可能な産業の発展、さらには社会課題の解決に寄与することが期待される。
- ・また、産官学が連携した競技会の継続的な実施により、教育現場と産業界の接点が強化され、実践的な人材創出の好循環が形成されることで、地域に根差したロボットSier人材の創出が進む効果も期待される。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本ロボットシステムインテグレータ協会
(シャ) ニホンロボットシステムインテグレータキョウカイ
住所： 〒105-0011
東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館 B108号室
E-mail： sileague@jarsia.jp
URL： <https://farobotsier.com/>